

第7回 自然災害リスク管理に関する日本工学会・土木学会・日本建築学会・世界工学団体連盟(WFEO)合同ジョイント国際シンポジウム

「会議の目的と概要」

日本国内では東日本大震災後の継続的な復興支援と近未来の大地震の対策に関して、また世界的な気候変動下で予測される大規模な気象災害の対策に関して、災害に取り組む様々な学会や団体との相互連携がますます重要になっている。グローバルな視点で、今まで両学会が日本工学会と日本学術会議を通じて世界工学団体連盟(WFEO)と共に、諸外国との連携のもと進めてきた自然災害リスクマネジメント(DRM)に関する国際シンポジウムを開催してきた。本ジョイント国際シンポジウムは、日本工学会、土木学会、日本建築学会と世界工学団体連盟の合同で主催され、国内外の自然災害軽減の取り組みを参考にし、今後の大規模災害に対する軽減技術の向上や軽減のための適応策を考える機会を提供するものである。

共催 社団法人日本工学会、土木学会、日本建築学会、世界工学団体連盟(WFEO)

後援：日本学術会議（予定）

日時：2013年9月5日（木）9：00～12：00（180分）

会場：日本大学生産工学部、津田沼キャンパス、39号館6階スプリングホール

定員：50名（事前申込不要）

参加費：無料

使用言語：英語（同時通訳なし）

司会 塚原健一（日本学術会議 WFEO 分科会委員）、伊藤一正（WFEO-DRM 幹事）

9:00-9:10 開会挨拶

石井弓夫（元土木学会会長、日本学術会議 WFEO 分科会委員、WFEO 副会長兼 DRM 委員長）

主旨説明 伊藤一正

9:10- セッション I, 講演時間（各 20 分＋質疑応答）

「タイトル名」 氏名（学会、所属）

1. 「Recent Developments of Runoff Analysis and Disaster Reduction Against Guerrilla Rainfall and Line Shaped Rain Bands」
山田正（土木学会、中央大学）
2. 「Compound Strategy Forward to Compound Disaster Mitigation: Lessons from Hsiaolin Village, Typhoon Morakot 2009」
Wen-Chi LAI（海外招待、Taiwan National Cheng-Kung University）
3. 「Critical Engineering Needs toward Resilient Society: Collapse Quantification and Prompt Condition Assessment」
中島正愛（日本建築学会、京都大学）

4. 「Actual Situation and its Problems of Reconstruction Planning」

姥浦道生（日本建築学会，東北大学），

10:40-10:45 休憩

10:45- セッションII，講演時間（各 20 分＋質疑応答）

5. 「Transboundary Disaster Risk Management: Coping with large-scale natural hazards with regional impact」

Ali CHAVOSHIAN（海外招待，Iran University of Science and Technology in Iran）

6. 「Estimation of Water Disaster Damages after Climate Change and An Adaptation Concept in Japan」

風間聡（土木学会，東北大学）

7. 「Outline of DR²AD (Disaster Risk Reduction investment Accounts for Development) Model」

竹谷公男（国際協力機構）

11:55 まとめと閉会挨拶

小松利光（日本学術会議会員・WFEO 分科会委員，WFEO-DRM 水災害タスク - グループリーダー）

12:00 終了

注意）質疑応答は，各セッションの講演者のプレゼンテーションが終了した段階で一括して行います。